

今回訪れたデナリ南麓ルース氷河最上流部で、幾度かの偵察行をしつつ、4つの自分たちらしい登攀をすることが出来た。何よりも贅沢だったことは、多くの人が集うアラスカの地で、この間まったく他人に会わなかったことかも知れない。そのことは、自分とパートナーと自然（山も空も大地も）とが、純粹に向き合うことが出来る環境を作り出してくれたと思うのだ。だから、より雑音無く、自分たちのラインに向かうことが出来たと思うし、美しくも厳しい自然の姿を受け止めることが出来た気がする。

Prelude プレリュード

—Dan Beard 南壁バリエーション / V, snow & ice / 7hrs.

我が家（BC）から南壁内院まで 1 時間半のアプローチ。南壁に向かって右端、取り付きのベルクシュルントは、偵察時の予想通り、うまい具合に崩れた箇所が埋まっていて難なく突破。スノーバー、岩ギア、スクリュウで支点を取りながらのコンテで快適に登る。広いクローワール状から、三角岩を回り込み、小さな雪稜を乗越して左方へトラバース。壁のほぼ中央を上部へと向かう。上部ヘッドウォールを右上し、チムニー状の隙間に導かれて頂上プラトーへうまい具合に出た。氷と雪の広いプラトーに出る頃には雪雲に包まれてしまったけれど、2つの小さな偽ピークを越えると、そこは広い頂上だった。

Concerto コンチェルト

—peak11,300 East Spur, 東壁～Point KJ / AI4+, M5+R / 18.5hrs.

4:40 下部雪壁の登攀開始。クローワール内の核心、ボロボロの氷と岩と、スカスカの雪を騙しだまし登る 3 ピッチ。これを越える頃、上部に朝陽が差して雪崩が始まる。雪崩のラインを避けつつ、クローワール上半の雪壁をコンテで登る。12:30 クローワール終了点まで登りつめる頃には、ガスが濃くなり視界がほとんどなくなってしまった。ガスの中に見え隠れする上部岩壁帯は、想像したより傾斜がある。ここから先へ進んだら、もう戻ることは出来ないね、と話しながらも、戻るという選択肢はどうも無いようだった。

ガスの中に次々現れるその姿は、オフウィドゥスあり、チムニーあり、スラブ、チョックストーン、スカスカの雪、そして積木のような不安定に重なり合った岩、砂利の混じった硬い氷と、たっぷり私達を楽ませしてくれた。大奮闘の末に上部雪壁と雪稜を越えて頂上に出たのは 23 時過ぎ。ピンク紫に暮れゆく空に、デナリの姿があった。そしてもちろん、闇にならないままに、暁の色へと空は移り変わってゆく。あまりにも美しく、痛いほどに冷たいアラスカの空の奏でだった。

Nocturne ノクターン

—Dan Beard 東壁 / WI4, AI5, M5 / 12hrs.

頂上プラトーからの懸垂氷河の脅威に触れずに登れそうなラインを、東壁に探る。右寄りの V 字ガリー右俣をコンテで登り、どん突きから左上するガリーへ入る。流水氷と岩と雪のミックスを 9 ピッチ、東岩稜沿いのコーナーから上部スノーリッジへ。アラスカらしい、両雪庇と氷のリッジを高度感いっぱいに登る。上部はセラック帯。氷河の割れ目をつないで頂上プラトーを目指す。頂上直下で、大きな割れ目（クレバス）に遭遇するが、なんとかアイスクライミングで突破。Dan Beard の広い頂上で、またまた雪雲に巻かれて視界は最悪。散々彷徨した挙句、幸運にも広がり出した青空の下に、南壁への下降路を見出して、無事に東壁～南壁への縦走を完成させることができた。満月の夜のこと。

Sonatine ソナチネ

—peak11,300 East Spur, 東壁～P3 / WI4, M4 / 10hrs.

何処からも全景を見ることの出来ない、pk11,300 東壁。ルース氷河上流部を偵察していた中で、遠目に認めた一本の明らかな氷のライン。しかし取り付きが分かりづらく、また陽が当たるとルートそのものが雪崩の通り道と化するために、なかなか近づけなかったライン。夜中、と言ってもヘッドランプ無しでも大丈夫な自然の明るさがある中、ガリーの登攀開始。闇じゃないのに月が神々しく明るかった。下部ガリーはコンテ。上部ガリーは、流水氷と S'Nice と時々岩。プロテクションは岩が一番安心で、時々スクリュ。しかし氷の支持力は全てあやしい。スタカットで5ピッチ+ α 。最上部はコンテでコル（稜線）まで上がり、上部岩稜帯の登攀へ。クラックを使って岩と雪の3ピッチ半でP3頂上へ。

Data

遠征期間：2014年4月21日～6月5日（氷河上38日間）

チーム：team Wasabi 2014（谷口けい、和田淳二）

エリア：アラスカ州デナリ国立公園、Ruth Amphitheater, Ruth West Fork

登攀したピークとルート、内容：

- ①Dan Beard (10,260ft) South Face variation "Pr e lude" / V, snow & ice / 7hrs.
プレリュード
- ②Peak11,300 (11,300ft) East Spur, Point KJ "Con c erto" / AI4+, M5+R / 18.5hrs.
コンチェルト
- ③Dan Beard East Face "Nocturne" / WI4, AI5, M5 / 12hrs.
ノクターン
- ④Peak11,300 East Spur, P3 "Sonatine" / WI4, M4 / 10hrs.
ソナチネ

ギア：

60m ロープ×2, スノーバー×3or4, スクリュー×8(19cm×1, 16cm×4, 13cm×3), ピトン×3(K2, A1), ナッツ#4-11, キャメロット#0.4-2or3, トライカム#1-3,4, アルパインドロー×12, 捨て縄, ツェルト, jetboil sol

特記事項：

*全ての登攀において、下降時の支点は捨て縄のみ（岩とアバラコフ）。岩ギア残置は無し。

*全てのラインにおいて、雪崩のリスク、セラックの処理、クレバス対応、ルートファインディングといった、クライミング技術以外の能力が求められる。日中晴れると雪崩が頻発するので、登攀や下降のタイミング（時間帯）の見極めも必要。

